学校番号	1011

令和８年度　学ネイチャーテクノロジー科

教科	学ﾈｲﾁｬｰﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	科目	(学)病理・栄養学入門	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

病理学概論から始まり、循環器、ヒトの体、感染症、栄養素、免疫などの分野を１年に渡って学習する。また生活習慣病など身近な例を扱い、身の回りの病気がどのように体に作用するのかなどの基礎的知識理解を定着させる。

2　学習の到達目標

1. 病理・栄養学について理解する。
2. ヒトの体についての観察，実験などを行い，ヒトの体に対する関心や探究心を高める。
3. 病理と栄養学についての正しい知識を身につけ、自分の生活習慣を見直している。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	病理・栄養学とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	病理・栄養学の問題を見出し，見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。	病理・栄養学に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度が養われている。 ヒトの体の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりに対する興味・関心を高めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	病理学概論	1. 病理学 2. 病気･感染症 3. 生活習慣病 4. 肥満 5. 適正体重	a：病気や感染症、生活習慣病など，病理学について得た知識を，人体の機能や人間生活と関連づけて理解できる。 b：病気とヒトの体との関係などについて，実験を通して考察し，表現することができる。また，人体の器官をもとに，自らの生活との関わりについて思考し，総合的に判断することができる。 c：生活習慣が，病気・感染症など，様々な面と関わっていることに関心を持ち，意欲的に学習しようとする。健康が関わっているヒトの行動やヒトの体の構造と働きについて関心を持ち，意欲的に学習しようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート 観察・実験 レポート	振り返りシート 提出ノート 観察・実験 レポート
2学期	ヒトの体と器官	1. ヒトの内臓と構造 2. 消化器系 3. 循環器 4. 筋肉 5. 脳 6. 神経	a：ヒトの器官や内臓、構造について理解し、病気との関わりや、ヒトの体やはたらきなどその応用において様々な知識を理解できる。 b：ヒトの器官や構造がヒトに与える影響について科学的に分析し総合的に判断し、それを表現することができる。 c：ヒトの体や構造など自分の体との関わりにおけるヒトの体への影響に関心を持ち、意欲的に調べそれを表現しようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート 発表	振り返りシート 提出ノート 発表

3学期	免疫と病気	1. がん 2. 糖尿病 3. アルツハイマー 4. 免疫	a: 免疫やがんなどについてそれぞれの性質を把握し理解できる。またその影響や症状の違いから生ずるヒトへの影響の違いを理解し，それぞれの性質を見極めて日常生活に適切に利用できる。 b: 免疫がヒトにどのような役割を果たしているか観察・実験を通して総合的に判断し，表現することができる。また、病気の性質の違いによるヒトへの影響の違いなどを的確に考察することができる。 c: 身近な病気の予防や，それぞれの病気の性質を追求し，生命の維持と快適な生活にどのように利用されているか関心を持ち，意欲的に学習しようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート 観察・実験 レポート	振り返りシート 提出ノート 観察・実験 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度